

「ほっかいどう学」 ネット検定の問題について

1 一般検定

(1) 問題作成の方針

北海道について学ぶことへの関心を高め、地域づくりに主体的に参加する道民を生み出す学習を促進するための、ほっかいどう学の普及を図ること

(2) 作成の経緯

「ほっかいどう学」 ネット検定の問題作成及び監修を行うため、実行委員会に専門部会を置き、各領域に3名の専門委員を置き作成にあたった。この専門委員は、ほっかいどう学（歴史・文化）を学ぶ会、ほっかいどう学（自然環境）の会等の団体に所属している。

(3) 公式問題集

「歴史・文化」、「自然環境」領域に各3名の専門委員を中心に「ほっかいどう学」公式問題集300問の中の「歴史・文化」領域の問題のうち、2問、「自然環境」領域の問題のうち、45問の問題改訂を行った。

(4) 出題問題

公式問題集300問の中から、3～5級は公式問題集から100問、5級は70%以上、4級は80%以上、3級は90%以上で合格となる。1～2級は公式問題集から50問、解説からの4択問題を30問、解説からの穴埋め問題を20問、計100問から出題予定。2級は85%以上、1級は95%以上の正解で合格となる。

2 ジュニア検定

(1) 問題作成の方針

小中学生を対象にした北海道の歴史や文化、自然、環境等に関する問題集を作成し、日常的に学習してもらうことにより、子どもたちの北海道に対する興味・関心を高め、ふるさとに誇りを持つ人をはぐくむきっかけとすること。

(2) 作成経緯

各市町村教育委員会に対して、事前に問題内容の希望等を確認の上、副読本を参考に各市町村の歴史や文化、環境等の特徴的な事柄から問題を作成した。

出典先として、「ほっかいどう学」 検定公式問題集やアイヌの人たちの歴史・文化等に関する啓発資料「ピサラ」（北海道教育庁学校教育局義務教育課発行）、小学校のよみものほっぼうりょうど2014年版等を参考に作成。

北方領土の問題については義務教育課、アイヌ関係の問題については道立アイヌ民族文化研究センターに問題の内容について、助言をいただき作成した。

(3) 公式問題集

公式問題集の問題数は200問、全道14管内179市町村から179問、北方領土の問題を11問、アイヌ関係の問題を10問、平成26年度ジュニア検定の公式問題集とした。

(4) 出題問題

公式問題集200問の中から、3級は公式問題集から50問、2級は公式問題集から40問、解説からの4択問題から10問の計50問、1級は公式問題集から30問、4択問題から20問の計50問から出題する予定。各級とも、70%以上の正解で合格となる。